

7
2025

三重病院 ニュースレター

news letter vol.306

- 01 リハビリテーション科と学校連携
- 02 夏本番★水の事故に気をつけましょう!
2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
- 03 ツウちゃんの病院探険(南3病棟)
糖尿病ワンポイントアドバイスNo.12
- 04 三重病院 就業体験のご案内
5病棟の生活のひとコマ
- 05 通所支援事業のひとコマ
今月のみえツウちゃん/外来からのお知らせ
- 06 病院からのお願い/外来診察のご案内



リハビリテーション科と学校連携 過去・現在、そしてこれから

■学校連携の今までの経緯

三重病院リハビリテーション科では、小児から高齢者まで幅広く日常生活の向上を目指し、医療・社会福祉の両面からサポートを行っております。

学校連携の対象として取り組みを行っているのは、1病棟(整形外科病棟)・5病棟(重症心身障がい児者病棟)に入院されている就学時の患児となっています。今回は、整形外科病棟に入院される患児の入院から退院、退院後のリハビリテーション科の関わりについてお話をさせていただきます。

当院では整形外科病棟に入院される患児へリハビリテーション科は小児整形外科領域に該当する手術後の回復やリハビリ入院に対して治療を行っております。

現在、当院において小中高生の患児は、隣接された学校に通学しながら治療を受けることができる環境が整っております。リハビリテーション科では、今までもそれら学校の先生方との連携はありましたが、もっとそれを深めて行く必要性を感じていました。その中で、患児と先生方の関わりや先生方の機能改善に向けた取り組みなどのお話をお聞きし、学校の先生方のお力をお借りしながら患児の治療を行っていききたいという思いで、2022年より本格的に学校連携が始動しました。現在では、双方(リハビリテーション科と学校間)を行き来することで患児の様子や関り方、学校でできる訓練、困っている点、注意点など双方向にお話ができる環境が整っています。

■今年度からの更なる取り組み

これまで隣接された学校との連携の拡充を図ることを中心として取り組んできました。退院された後、地域に戻られてからのフォローとしては、地域で関わって頂ける方々との関係者会議や書面での情報共有までであり、患児が退院し、実際に地域に戻られてからの様子は把握できていないのが現状でした。そこで地域に戻ってからの様子を把握し、フォローしたいという思いで、科内のスタッフと隣接された学校の先生とで実際に学校に出

向き、患児の様子や関わって頂いている学校の先生方の困り事や悩み事の相談、要望などをお聞きし、退院後も患児の機能維持・改善や生活する上での不安を取り除きたいという思いで“アフターフォロー”という活動が始まりました。

■アフターフォローの実際

今年の5月中旬に退院後の患児の学校に“アフターフォロー”として訪問しました。実際に訪問することで患児の機能が維持・改善している様子や先生方の関わり方、訓練場面などを見ることができ、私もとても勉強になりました。また、地域の先生方から歩行時の姿勢・介助方法・距離、学校で行う訓練内容と取り組み方、車いすへの移乗方法などの相談を受け、提案・助言をさせていただきました。この機会を通して、アフターフォローの重要性・大切さを1回目の訪問にして感じました。

■今後に向けて

これまでやこれからも術後のリハビリテーションやリハビリテーション目的で入院され、地域に戻られる患児は多くいらっしゃいます。入院され、リハビリテーションを受けられる方やその



ご家族様も期待や不安があるかと思われます。また、地域に戻られてからの生活や学校生活でも同様の思いがあるかと思われます。そのご期待にお応えできるようスタッフ一丸となり、治療に努めるとともに、地域に戻られてからもアフターフォローという形で患児へ関わりながら、今後も患児やご家族、学校の先生方にとってもより良く・安心できる環境を整えたいと考えております。

(理学療法士 桂川 貴暉)